



ゆりかご 園だより

2025.9.1



相変わらず暑い日が続いていますが、今年の夏は猛暑に加えて湿度も高く、全国各地での集中豪雨の様子を見ると気候変動がいよいよ現実問題として身近になってきたと感じます。お盆明けからは雨の日が多くなり、子どもたちの送迎も大変だったと思います。先日の雨

の日に、はとぐみのひまわりにお水をあげようとしていたあるお子さんに「きょうはお花もいっぱいお水のめてよかったね」とお母さんが言葉をかけていたことがとても印象に残っています。大人にとっては憂鬱な雨の日も子どもたちにとっては楽しい日でもあり、そこにしっかり寄り添ってくれることは素敵なことだなと思いました。

さて、8月の園だよりにも載せましたが、8月の2日～4日に群馬県で行われた全国保育団体合同研究集会（全国合研）にゆりかご保育園から3名の参加者を送り出して頂きありがとうございました。札幌に戻ってから、どうだったか聞いてみるとそれぞれの気づきがあり、一様に参加してよかったと言ってくれました。

合研のよいところは、他の立場の人の考え方を学べるところです。私自身も保護者として保育をよくする運動に参加し、その意義や価値を考えていたときに、合研に参加して様々な立場の人たちの話を聞く中で、保育者の考えや悩みを知ることで要求の実現はできないと思ったことが保育士になったきっかけでした。

親の立場から我が子を見たときに、どうしてうちの子は大人が理解できない行動をとるのだろうと感じた経験はないでしょうか。そのようなとき自分の育て方に疑問を抱いてしまう方もいると思います。私もそうでした。でも、子どもの発達を知ってから、その行動について考えてみると、決して疑問を抱くようなことではなく、むしろ順調に成長していたんだなと気づくこともありました。そんな考え方ができるようになったのも合研がきっかけだったような気がします。

ゆりかご保育園にとっての全国合研は、夏まつりで資金を捻出して送り出してもらっています。合研に参加させてもらうことだけでなく、そこに至るまでの思いや人のつながりが私たちの財産になっていくことも忘れてはならないと感じます。父母の皆さま、改めて貴重な機会を頂きありがとうございました。来年の全国合研は神戸での開催が予定されています。

